



駅伝大活躍 そしていよいよ文化祭がはじまります。

10月も下旬にさしかかり朝夕かなり冷え込み、すっかり秋らしくなりました。3週間前に合唱コンクールに向けて練習がスタートしたものの、この間、県中学校駅伝、中間考査、県選抜大会等もあり、なかなか合唱に集中することができないまま毎日が過ぎたような気がします。14日に学年リハーサルがありましたが、ハーモニーにはまだまだほど遠いようです。その後各学級は精力的に交流会をこなし、3年生の歌声からも大きな刺激を受けた学級もありました。リーダーを中心とした最後の追いこみを期待しています。

さて、ご存じのように10月3日(土)県中学校駅伝があり、本校チームはすばらしい快走を見せ、とくに男子の部では総合3位という過去最高の成績をあげてくれました。最終6区で安達くん(2年2組)が区間1位で、チームの入賞に大いに貢献してくれました。女子の部では、1・2年生のみでチームを編成し、それぞれが粘りのある走りをみせて着実に順位を上げ、総合25位に食い込みました。友好レースでも2年生が活躍。総合3位となり、夏休み早朝から練習した力を大いに発揮してくれました。

駅伝で学校が大いに盛り上がり、県選抜大会でも2年生は現在のもてる力を発揮して、いよいよこの週末に文化祭・合唱コンクールが実施されます。生徒は合唱活動だけでなく、「14歳の挑戦」での体験に基づいた個人新聞づくりや、学年で実施したいじめの防止集会に関する発表に向けての準備など、様々な活動を精力的にこなしております。文化祭当日にはたくさんの保護者の方にぜひ来校していただき、生徒たちの日頃の学習の成果をたっぷりご覧いただきたいと思ひます。
(学年主任 角川 誠)

合唱リーダーの紹介

		1組	2組	3組	4組	5組	6組
指揮者		飯田絢也さん	好田遼さん	本田龍臣さん	河村直喜さん	水野創介さん	関井涼平さん
伴奏者		佐藤李玖人さん	藤田未羽さん	徳田紗弥さん	松井美桜さん	高瀬万緒さん	安宅恵梨さん
パート リーダー	ソプラノ	新堂きっかさん	一色彩海さん	竹田梨那さん	大橋美月さん	川上凜子さん	岡山奈々さん
	アルト	稲澤玲美さん	村椿友香さん	水野真緒さん	小川桐佳さん	高川理子さん	山東遼菜さん
	男声	水野颯人さん	佐竹克生さん	上野颯大さん	水野祐希さん	阿部弘輝さん	有澤秀玲さん
サブ リーダー	ソプラノ	清水果歩さん	浦田紗彩さん	関野結衣さん	一色愛海さん	照井彩音さん	杉本悠輝さん
	アルト	古谷真珠さん	山本梨乃さん	長谷川真夕さん	牧野莉奈さん	星 銀河さん	椎名美月さん
	男声	桜井朋希さん	中西優太さん	笹島知哉さん	金剛侍優司さん	上田稜人さん	上田悠馬さん
音取り リーダー	ソプラノ	小川万結さん	成瀬日葵さん	徳田紗弥さん	林菜桜さん	関口ほの香さん	砂子琴音さん
	アルト	田島恵美さん	福田珠藍さん	高橋遥菜さん	松井美桜さん	高瀬万緒さん	村上かれんさん
	男声	佐藤李玖人さん	藤田未羽さん	水島基陽さん	長川歩夢さん	細岡隼樹さん	常田桜汰さん

上記のリーダーに加え、各学級の委員長・副委員長、集会歌声委員もリーダーとして合唱コンクールを引っ張っていきます。

各学級の意気込み

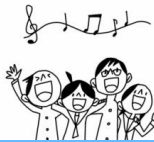
1組

自由曲 **虹**

「最高の合唱」

という名のパズルを皆で
つくりあげよう

一人一人が合唱というパズルのピースであることを意識し、みんながパズルのようになつて、最高の合唱を作り上げ、W最優秀賞を取ろうという思いを込めました。



2組

自由曲 **心の瞳**

「粉骨碎身」
～力の限り精一杯歌おう～

身を砕き、骨を粉にするような勢いで今できる最大の努力をし、最後には全員まったく悔いの残らない「あの合唱、最高だったね。」といえる合唱にしたいと思います。



3組

自由曲 **時の旅人**

「FOR ONE PURPOSE」

～ひとつの目的に向かって～

「ひとつの目的」とは、W最優秀賞のことです。

もめ事や遅刻の多い3組ですが、ひとつの目的に向かって団結できるよう願いを込めました。

W最優秀賞を取れるようがんばります。



4組

自由曲 **瑠璃色の地球**

「月まで響け」

～音 Our harmony～

私たちの歌声をどこまでどうしたいかを考えた時に、「瑠璃色の地球」を歌うので地球から月まで響かせたいという願いを込めてみました。



5組

自由曲 **COSMOS**

「一笑懸命」

～響きわたれ5組の絆と

ハーモニー～

一生懸命やるときはやるという意味と、みんな笑顔で練習して絆を深めようという願いを込めました。最高の合唱になるようにベストを尽くします。

6組

自由曲 **明日へ**

「皆歌夢叶」

～明日へ届け！！我らの夢を乗せた歌声を～

W最優秀賞という“夢”に向かって皆の声を一つにし、最高の“歌”を歌い、夢を叶えるという思いを4文字に込め、私たちの合唱が空に響き、明日へ届くようにがんばりたいと思います。

各県大会の結果

富山県中学校駅伝競走大会

男子総合 3位 2年生出場者 安達京摩さん
女子総合 25位 2年生出場者 関野結衣さん 高瀬万緒さん 川上凜子さん
友好レース総合 3位 2年生出場者 水野祐希さん 平島亜純さん 徳田紗弥さん
廣田涼帆さん
区間賞 6区(3km) 1位 安達京摩さん(9分47秒)

富山県中学校選抜大会

サッカー 2位
男子卓球 団体 3位

富山県 Jr. オリンピック大会

男子共通走高跳 2位 記録 168cm 佐竹克生



応援が力に

2年2組 安達京摩

本番の日、競技場に着くとたくさんの方がいました。開会式の時から緊張していました。男子の競技が始まり、直前の5区で総合6位になると聞いてますます緊張しました。この順位を守れるかどうか不安にもなりました。しかしタスキをもらって走り始めたらすぐに応援の声が聞こえたので、負けたくないという闘志がわいてきました。結果は総合3位。一緒に練習した先輩達とよい成績が残せてとてもうれしかったです。出場権をつかんだ北信越大会でもぜひがんばりたいと思います。

応援される人に

2年3組 関野結衣

今年も駅伝大会に参加し、2年連続で第1区というレースの流れをつくる重要なところを任されていたので、本番はとても緊張していました。ただスタート前にいろいろな先生方から応援していただいて、少し緊張感もほぐれました。

競技中にもいろいろな先生方に応援してもらいました。日頃の生活態度もしっかり見直し、いろいろなことに感謝しながら、これからも応援されるような人になりたいと思います。

友との約束を果たすために

2年2組 佐竹克生

僕はJr.オリンピック大会で2位に入賞することができました。大会当日はなかなか調子が上がらず大変でした。最初150cmを二回も失敗した時はメダルをあきらめかけました。そんな時に、駅伝で頑張っていた友達を思い出しました。大会前、その友達にメダルをとって来ると約束していたのです。崖っぷちに立たされましたが、跳ぶことだけに集中し、少しずつ波に乗れて記録をのぼすことができました。次は来年の全中出場を目標にがんばっていきたいです。

この悔しさをバネに

2年5組 本田虎大朗

県選抜大会(サッカー競技)はとても悔しさの残る大会となりました。初戦では出町中に5-1と勝利することができました。決勝戦の大沢野中戦ではなかなか思い通りのプレーができず2-3で敗れてしまいました。その失点の1点は自分が与えたPKのせいなので、よけいに悔しさの残る試合でした。

僕たちの目標は来年の県中学校選手権で優勝し、地元で行われる全国大会に出場することなので、この悔しさをバネに日々の練習を真剣に取り組みたいです。

どんな勉強をすればいいの？ その2

中間考査が返却されました。残念ながら決してよかったとはいえ、まだまだ家庭での復習する時間が必要です。来月には中教研学力調査が実施されます。教科によっては1年生の範囲からも出題されますが、2年生のはじめからこれまでの学習した内容から概ね出題されるはず。ですからぜひとも**今回の中間考査をきちんと綴るなどして保管しておき、何度もやることが学力調査対策となります。**

また、提出物として集めた問題集をチェックしていると、間違えた問題を赤で書き直しているのを本当にたくさん見ます。それならまだしも、**全部正解の答えを書いて○をつけて提出している人もたくさんいました。**テストもその調子であればよかったのですが、恐らく答えだけを写してそのまま提出したのだと思われます。でも、本当にそれでいいのでしょうか？

1 問題集を繰り返し何回もする。

例えば、1回やって間違えたところを赤で書き直しました。次にもう1回やって赤で書き直したところがきちんと解けるでしょうか？たぶん無理でしょう。答えを見ながら赤で書き直しても、それだけでは理解につながるとは思えません。

できなかった問題はもう一度教科書やノート、解答の解説などを見ながら、自分で解いてみるのです。そして、しばらく時間を置いてから間違えた問題だけをもう一度やっている。それで解ければOK。できなければ、もう一度同じことをする。それを繰り返すのです。

「**間違えた問題だけをやる**」というのが大事。これが9月号で書いた、「分かっていることと分からないことを分ける」作業なのです。分かっていないところを集中的に復習する、という勉強の仕方が、これにあたります。

何冊も問題集を買い込んでするのもいいかもしれませんが、1冊をじっくりやり込むのも、一つのいい方法だと思います。

2 優先順位をつける。

あまりにもたくさん間違いだらけで、どこから手をつけたらいいか分からない、という人は、それらを優先順位をつけましょう。「**基本→発展→応用**」の順です。より基本的な内容から先に手をつけ、難しいと思うような内容は後回しにするのです。

また、×のつく問題が数は多くないんだけど、あっちこちに分散して、どうしたらいいか分からない、という人は、全体を通して2回目、3回目をしてそれぞれの結果を比較してみましょ。そして、繰り返し間違える問題をピックアップし、復習したり、先生に質問したりすればいいのです。また間違えたり正解したり、安定しない問題も要注意ですね。理解が不十分である可能性があります。

ぜひ参考にしてみてください。

